

第17回 国際芥川龍之介学会 (ISAS) 大会 プログラム (2022.7.21 版)
International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

大会テーマ：世界文学としての芥川龍之介—「藪の中」100周年を迎えて—

期日：2022年9月24日(土) 研究発表、25日(日) 研究発表・シンポジウム

場所・形態：専修大学神田キャンパス(東京都千代田区神田神保町3-8) およびオンラインのハイブリッド形式

9月24日(土)：10号館4階、10041、10042

9月25日(日)：大学院棟(予定)

Zoom参加情報は、参加申込み者に別途通知(Slackに掲載)

大会全体総括 堀 竜一(新潟大学/日本・大会実行委員長)

大会進行(第1日目) 村山 麗(上智大学大学院/日本・大会実行委員)

(第2日目) 木村 素子(上智大学大学院/日本・大会実行委員)

〔第1日目〕9月24日(土)

10:00 開会

◇開会の辞(会長挨拶) 国際芥川龍之介学会会長 高橋 龍夫(専修大学/日本)

【第I部】 10:15~11:55 司会:

個人発表① 芥川龍之介『南京の基督』論—秦淮娼婦としての宋金花の古典性—

林 悦(フェリス女学院大学/日本)

個人発表② 『南京の基督』における「南京」(仮)

梅 定娥(中国南京郵電大学/中国)

11:55~13:00 昼食休憩

【第II部】 13:00~15:25(14:15~14:25 休憩) 司会:

特集 「藪の中」100周年を迎えて

フェミニズムから見る「藪の中」における女性像 蘇 敏(大連海事大学/中国)

還元不可能な複数性—『藪の中』のポストモダニティについて

張 秀瑩(大連外国語大学/中国)

「藪の中」の映画化作品およびハリウッド・リメイク作の比較

大石 富美(久留米大学/日本)

15：25～15：40 休憩

【第Ⅲ部】 15：40～17：00

講演 新しい芥川像の創造—芥川研究 50 年

関口 安義（都留文科大学名誉教授／日本）

〔第2日目〕 9月25日（日）

【第Ⅰ部】 10：00～11：40

司会：

個人発表③ 芥川龍之介と中国絵画—「鬼趣図」像の生成をめぐって—

李 欣（四川工業科技学院／中国）

個人発表④ 「馬の脚」の寓意を読み解く—芥川の北京体験という視点から

秦 剛（北京外国語大学北京日本学研究センター／中国）

11：40～12：50 昼食休憩

【第Ⅱ部】 12：50～14：30

司会：

個人発表⑤ 百年を越えた中国記憶

—『支那遊記』から「ストレンジャー～上海の芥川龍之介」へ—

邵 若晨（南開大学外国語学院／中国）

個人発表⑥ ラフカディオ・ハーンによる英語翻訳を介した、芥川龍之介のフランス語文学受容について（仮）

藤原 まみ（山口大学／日本）

14：30～14：50 休憩

【第Ⅲ部】 14：50～17：30（16：10～16：20 休憩） 司会：

シンポジウム 「世界文学」は芥川研究に何をもたらすか

鵜戸 聡（明治大学／日本）

奥 彩子（共立女子大学／日本）

小谷 瑛輔（明治大学／日本）

澤西 祐典（龍谷大学／日本）

17：40 ◇閉会の辞 国際芥川龍之介学会副会長 松本 常彦（九州大学／日本）

* 会員以外の方の参加も歓迎いたします。

* 大会参加御希望の方は、本学会ホームページの専用フォームにてお申し込みください。

☆国際芥川龍之介学会 (ISAS)

International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

☆<https://akutagawagakukai.web.fc2.com/index.html>

会長 高橋 龍夫

事務局 〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学文学部日本語日本文学科 五島慶一研究室
